

# JTA Journal

ジャーナル

July 2016 (平成28年7月) No.5

## 巻頭言



## 雑感

副会長  
渡邊  
芳男

新たな日本機械工具工業会 (JTA) は6月で統合一周年を迎えました。旧・日本工具工業会の一員として超硬工具協会との統合を願ってきましたが、順調な歩みを見るにつけ、改めて会員各社様の御協力と事務局の御苦労と御努力に感謝をいたします。

当工業会はこれから大きく変化している世界市場に対し、日本の「ものづくり」の魂をご理解いただくために行動する組織となって欲しいと熱望します。

「ものづくり」の現場に目をやると、いまさらに生産技術の進歩は著しいものがあります。機械、電気、情報等の激しい変化が、マネジメントと設備という製造のキーワードに影響を与えています。

米国の技術者フレデリック・テイラーは100年も前に科学的管理法を発案しました。

そのなかで、標準的工具の使用条件を提供することにより、製造現場では目的が達成できると提唱しています。いままさに製造現場が変化してきたことを踏まえ、私たちは工具と情報をどう組み合わせお伝えすべきかを考え、いままでとは違う新しい仕組みを作らなければなりません。

ISO13399規格はこうしたなかでの動きであり、とくにユーザーの要求背景をくみ取ることが重要です。

当工業会は日本を代表してこの議論に参加し、世界規格の検証に協力したいと考えます。

この真の目的は長期的なユーザーサポートであることを明確にしたうえで今後の提案をなすべきと思うものです。つまりこの議論には積極的に参加し、私たちが培ってきた過去及び未来の技術を見据えて、将来的なビジョンを想定しながら実現可能な規格としての制定を主張すべきではないでしょうか。

今強く求められているのは、生産財としての工具の適切な工具特性と、使用条件 (検証データと共に) を公表することです。加えて環境に優しい安定供給サービスです。

多くの問題が発生するとどうしても短期的なものの方になってしまう。私たちは次の世代にツケを回さないために、中長期的な「中庸」の判断が必要です。

今年のWCTC2016に参加しましたが、帰国直後に熊本地方地震が発生しました。

5年前に福島で大震災を経験したものとして、熊本や大分の方々へこころよりお見舞いを申し上げるとともに、復興に向けた取組みが早くなされるように願っております。

とくに製造業の方々の復興に対し、業界として協力を考え実行を始めましょう。

(注) フレデリック・ウィンズロー・テイラー (1856年-1915年)

アメリカ合衆国の技術者 (技師・エンジニア) で経営学者。

科学的管理法の発案者で、現代では「科学的管理法の父」と称される。科学的管理法の手法を実践した事で、生産現場に近代化をもたらしたとともに、マネジメントの概念を確立した。

(株)彌満和製作所 代表取締役社長)

# 平成28年度定時総会

6月8日、第二回定時総会がアーバンネット大手町ビル21階「東京会館」にて60社が参加し、日下部専務理事の司会の下、開催された。



本間会長挨拶

冒頭、本間会長は開会にあたり「統合し一年が経過した。平成27年度上期の生産実績は順調に推移したが、下期は特に中国経済の減速により輸出が減少し、生産高は前年比5%増であった。昨年のEMO視察に続き、今年はタイの展示会で共同出展、国内ではJIMTOFが予定されており、お客様のニーズに対応する工具を提供するチャンスである。」と挨拶された。

続いて役員交替（西嶋副会長（富士ダイス株式会社）就任・退任（サンドビック株式会社）の挨拶・報告がされた。平成27年度は入会3社、退会3社、平成28年度は更に4社の入会があったため、現在、正会員76社、賛助会員50社、理事22名、監事4名の構成となっている。

審議事項は4件。

第1号議案の事業報告・収支決算について、平成27年度は統合年度であった為旧団体2つの決算書があり、佐々木監事（エフ・ピー・ツール株式会社）、石橋監事（株式会社イシハシ精工）がそれぞれ監査報告を行ったあと承認可決された。平成28年度より決算書は1つになる。

第2号議案の平成28年度事業計画では、工業会組織の活性化と充実、国際化の推進、各委員会の計画を説明し、承認可決された。

第3・4号議案では、平成28年度会費及び収支予算に関して説明後承認可決された。

その後報告事項に移り、新規入会の会員紹介、平成28年度生悦住賞・新庄賞の受賞者発表（P.3参照）の後、15分の休憩に入った。

総会再開後は、平成27年度生産実績及び平成28年度生産額見通しについて、田中業務委員長（住友電気工業株式会社）、藤平ドリル部会長（株式会社不二越）、大野フライス部会長（オーエスジー株式会社）、西川歯切工具部会長（三菱マテリアル株式会社）、古澤ねじ切り工具部会長（株式会社彌満和製作所）、植山バイト部会長（高周波精密株式会社）より報告が行われた。

続けて、各委員会からの報告が行われた。

コンプライアンス委員会（報告者：事務局）は、総務委員会メンバーを中心に現在まで5回開催。日本工作機械工業会への実情調査、また経済産業政策局より講師を招き、競争法コンプライアンス研修を行った。各国競争法の執行状況調査【欧州委員会、米国司法省トラスト局】に力を入れていく旨、説明があった。

総務委員会（報告者：坂本総務委員長（株式会社不二越））は、新統計表の調査や報告フォーマットを作成し、一元管理をすると説明した。

国際委員会（報告者：事務局）は、本間会長の方針でグローバル化の推進を掲げており、中小企業の海外進出支援、JETROより海外情報収集を実施する旨説明し、またIMTS2016シカゴショーツアーの参加を募った。

技術委員会（報告者：櫻井技術委員長（オーエスジー株式会社））は、ISO/TC29/WG34への参加、JIS規格見直しを中心に行い、ISOの追加と修正など、新たな規格案の議論がされたと報告した。言葉の問題があり意見がなかなか言えないのが問題点だが、継続して人員を派遣して行く必要があると説明した。また、サンドビックHPに



総会の様子



経済産業省 佐脇課長 来賓祝辞



石川副会長 乾杯



牛島副会長 中締め

ISO13399の説明が掲載されていると紹介した。

環境委員会(報告者:谷内環境委員長(三菱マテリアル(株)))は、統合を加速し活動を深化させていくと説明した。環境賞の調査内容の改善や選考の整合性を図り、環境活動交流会の企画をしていく。また、環境製品基準評価の改訂を行っている。コバルトリスクの規制緩和に関する意見交換として早稲田大学の名古屋教授に面談したと報告した。

また、知財専門委員会が新設され、13社で構成されている旨説明があった。

引き続き、平成28年度生悦住賞・新庄賞の表彰式を行った。生悦住賞は1名が受賞、新庄賞は13名の方が受賞された(下記参照)。

その後の懇親会は、本間会長の「昨年は生産実績が4,591億円だったが、できるだけ早く5,000億円の目標達成を目指す」との挨拶によって開会した。経済産業省製造産業局産業機械課佐脇紀代志課長より来賓代表として祝辞を戴き、石川副会長の発声により乾杯を行った。その後しばらく歓談の後に新入会員挨拶、最後に牛島副会長の中締めによって閉会した。

### 平成28年度生悦住賞・新庄賞受賞者紹介

#### 生悦住賞

生悦住賞はダイジェット工業(株)故生悦住貞太郎会長が、1978(昭53)年に傘寿を迎えられ、また同年は旧超硬工具協会創立30周年にあたることを記念して、協会に多額の寄付をいただきました。ご寄贈者のご意向に則り、その有効活用を目的として生悦住基金が設けられました。

本賞は、この基金をもとに①会員で草の根的に功労のあった人②会員内外を問わず業界発展に貢献された人を顕彰するために制定された表彰制度です。

#### 平成28年度生悦住賞受賞者:1名

- ◎諸熊 正俊 元、日本タングステン株式会社  
元、タングステン・モリブデン工業会専務理事

#### 功績の概要

2002(平成14年)から総務、業務、資材、協会賞選考委員会など主要委員会に参画。また、2003年から実質2期4年資材委員長を務められた。特に、2005年からのタングステンの高騰にあたり、原料商社による講演会開催等需給動向の情報入手に尽力された。また、コバルトの特定化学物質指定時にはITIA(国際タングステン工業協会)HSE(健康、安全、環境委員会)を通じ、主要海外工具メーカーが公的機関と共同で行ったコバルトの環境測定データの入手に奔走され、ユーザーへの規制免除に結び付けた功績。

#### 新庄賞

新庄賞は新庄鷹義氏が55年在任された富士ダイス株式会社社長職から会長職への昇格、合わせて米寿の慶事にあたり、同氏からの多額のご寄付により創設した新庄基金をもとに設けられました。受賞資格者は、会員企業(正会員)の“<sup>いんとうく</sup>陰徳の士”的立

場にある人(一般には目立たないながら、会社にとって非常に有用なことを実践している人、ボランティアを含む)で、所属企業から趣旨にそった方の推薦を受け表彰する制度です。

#### 平成28年度新庄賞受賞者:13社13名

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| ◎ オースジー株式会社        | 三好 忠義 |
| ◎ 関西超硬合金株式会社       | 望月 麻岐 |
| ◎ 京セラ株式会社          | 野間 智美 |
| ◎ 株式会社 共立合金製作所     | 南條 悟  |
| ◎ セコ・ツールズ・ジャパン株式会社 | 出口 雄二 |
| ◎ 日本ハードメタル株式会社     | 岩淵 圭樹 |
| ◎ 日本特殊陶業株式会社       | 稲垣 達也 |
| ◎ 株式会社 日研工作所       | 玉井 眞一 |
| ◎ 日本超硬株式会社         | 櫻井 文明 |
| ◎ 日本特殊合金株式会社       | 牛田 博士 |
| ◎ 富士精工株式会社         | 中西 考之 |
| ◎ 三菱マテリアル株式会社      | 斉藤 直樹 |
| ◎ 株式会社 彌満和製作所      | 野口 豊  |



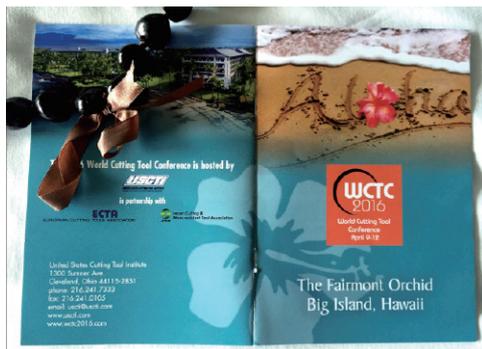
# 第6回世界切削工具会議 (WCTC) 報告

(1) 会 期 2016年4月9日(土)~12日(火)

(2) 開催会場 米国ハワイ州  
フェアモント・オーキッドホテル

(3) 主 催 USCTI (米国切削工具協会)  
共 催 ECTA (欧州切削工具協会)  
JTA (日本機械工具工業会)

(4) 参加者 171名  
内訳 JTA: 34名 (16社22名及び同伴者12名)  
USCTI: 98名 ECTA: 13名  
OTHER: 3名 (YG-1) SPONSORS: 15名  
SPERKERS: 8名



WCTCプログラム

## (5) 概略スケジュール

4月8日(金)

18:00~21:00 Executive Committee Dinner

日本: 牛島望副会長(団長)、石川則男副会長、  
渡邊芳男副会長の3氏参加。

4月9日(土)

14:00~16:00 JTA ミーティング開催  
(※内容は別途記述)

18:00~19:30 Opening Reception Coconut Grove

4月10日(日)

8:30~11:35 Meeting

◎講演者・演題

マークスピッツ氏

「オリンピックドリーム&魂(たましい)」【基調講演】

アンドレア Boltho 氏オックスフォード大学教授  
「グローバル経済と統計」

中国及び韓国工業会より切削工具産業の動向

◎午後観光参加21名

及びヘリ観光3名

13:00~17:00

ボナウナウ国立公園他

18:00~20:00

Reception & Dinner

Turtle Pointe

4月11日(月)

8:30~12:00

Meeting

◎講演者・演題

リチャード Aboulafia 氏 「航空/防衛産業概要と予測」

ハリー・モーザー氏 「ものづくり産業における人材開発」

USCTI(米国切削工具協会)より米国切削工具産業概況

ECTA(欧州切削工具協会)より欧州切削工具産業概況

◎午後観光参加15名

13:00~17:00 プウコホラウ神殿他

18:00~21:30 Reception & Luau Plantayion  
Estaes

4月12日(火)

9:00~12:00 Meeting

◎講演者・演題

フィリップヘルツ氏



牛島団長



講演の様子

「CECIMO：世界における欧州の工作機械業界；  
統計と政策課題について」

マイケル・ロビネ氏

「自動車産業の次のステージ：グローバル、高速化と  
マルチマテリアル」

牛島団長プレゼンテーション

- ①JTA：日本機械工具工業会の概要
- ②日本の経済状況
- ③日本の自動車産業の生産動向
- ④日本の工作機械産業の動向
- ⑤日本の切削工具（特殊鋼、超硬工具）の生産動向
- ⑥事例紹介：日本における工具需要のけん引役

なお、12日は牛島団長が司会進行役（初日はUSCTI、  
2日目はECTA）。

※4月9日（土）14：00～16：00 JTAミーティング  
出席者 16社23名

議題及び議事内容

(1) コンプライアンス宣言

会合に先立ち、事務局より「我々は競争法コンプライ  
アンスルールを遵守し、競争法に違反する議論は  
行いません。」との宣言を行い、以下の議事を行った。

(2) 牛島団長挨拶並びに講演内容披露

牛島団長から、第6回世界切削工具会議(WCTC)ハ  
ワイ会合参加者に対し、御礼の内容を含めた団長挨拶が  
あった。

つづいて、最終日に行われる予定のプレゼンテー  
ションの内容披露があった。

(3) ハワイ会合スケジュールの確認

事務局より、ハワイ会合の公式行事のスケジュー  
ルとJTAで手配した観光（10、11日の2日間）につい  
て概要説明があった。

(4) ISO13399の動向と今後の工業会の取り組み方針

国際委員会より、世界切削工具会議（WCTC）初  
日に行われるJTAミーティングを有効活用すべく本議  
題の提案を受け、ISO13399（切削工具データの記述  
と交換）の各国の動向と今後の工業会の取り組み方針

について議論した。議論の中心は、今年1月、サンドビッ  
ク本社から専門家を招き開催した講演会の内容につい  
て行われた。講演の中で、日系の機械メーカー・工具  
メーカー数社は独自に取り組み参画している資料が示  
された。また今回講演の中で、サンドビック社が中心  
となり、『GTC』というデータ管理システムを構築し、  
スタンダード化しようという動きがみられたこと。

日本のメーカーの多くは現状に影響のないことから  
静観しているが、ISO13399が完成する10年以内(?)  
にはシステム側の意向でリストが並べられたり、CAM  
が自動で工具選定するなどの世界が予見される。日本  
のメーカーが一堂にデータを集積すれば、一つの流れ  
を作れる可能性もあり、早急に業界でどうするか。経  
営トップ間の検討が必要である。

これらの議論から、石川則男副会長より事務局に対  
し、どのような組織を設け、どのような知見のある委員  
を集め議論したらよいか、検討するよう指示があった。

なお、同時期の4月12日から14日にフランス国パ  
リ市において、ISO13399会合が開催されており、オー  
エスジー株式会社から犬塚徹氏、日本機械工具工業  
会事務局より大石哲也課長の2名を派遣した旨報告  
があった。



JTAミーティング

(5) 世界切削工具会議（WCTC）の概要と今後の工業  
会の取り組み方針

3年ごとに開催される本会合には、今後日本の工具  
業界のプレゼンスを示すためにもアジア地区を代表し  
て、参加していくことを確認した。また、プレゼンテー  
ションなどで日本の先進的なものづくりを紹介するこ  
とにより、日本の工具業界の技術力の高さをイメージ  
付けすることを目的にするなど、開催趣旨（目的）に  
ついても多く意見が出された。

## 1. 開催日

2016年4月12日 08:50-17:30

Task Force (TF) 出席18名 うち日本3名

2016年4月13日 09:00-17:30

Maintenace Agency (MA) 出席21名 うち日本3名

2016年4月14日 09:00-17:00

Working Group (WG) 出席22名 うち日本4名

## 2. 開催場所 フランス国パリ市、UNM (フランス規格協会) 403会議室

## 3. ISO/TC29/WG34

### "Cutting tool date representation and exchange"

(国際標準化機構第29技術委員会第34作業部会「切削工具データの記述と交換」)

### 3-1 出席者

サンドビック4名、

イスカル3名、

ケナメタル2名、

セコツール1名、

ワルター1名、

シーメンス2名、

シムソース1名、CETIM 1名、DASSAULT SYSTEMS 1名、

UNM 2名、OSG GmbH (犬塚徹)、日研工作所 (三角進)

JMAA (堺弘司)、JTA (大石哲也)



### 3-2 会合内容

TFではPLIB (辞書) バージョンアップ新規提案についてサンドビック社から、また3D Modellingについてシーメンス社から素案説明があった。提案内容に対して欧米参加者による熱の入った活発な議論が途切れることなく、時には3、4人の発言が重なりながら続けられた。日本はMAにおいては実質的な活動ができていないが、今回の進展として全く参加していなかったMA情報を日本工作機器工業会、日本機械工具工業会両事務局へも配信するよう幹事国フランス事務局へ依頼した。将来、日本からの申請希望が出た場合を考慮して、各国のMAメンバーと協調して処理を行えるように工具製品情報に通じた専門家がMAに参加するべきと考える。

## 4. 所感

### 4-1 ISO13399とGTC

会議はISO13399 (切削工具データの記述と交換) だが実質GTCという「工具管理システム」の作りこみに会全体

が動いており、全員が同じ方向である。WG中心メンバーの狙いはISO13399の先にあるジェネリックカタログ (GTC) であるが、問題



は企業登録 (4ケタ) が無い会社はリストに出ないばかりか、企業のブランドを表すような文字を他国企業が先に登録すればその企業の工具がリストアップされる懸念があることである。もはやこの動きは止めようがなく、日本はGTCを受け入れた上で何が出来るか? 現時点では日本各社に影響は少ないが、ある日を境に垂直立ち上がりする可能性がある。

### 4-2 WG34

今回日本は初めてMAにオブザーバー参加したが、TF、WGとメンバーは基本的に同じであり、3会合一体で話が進んでいる。工業会関係者が出ているのは日本だけで、各国は国を代表して発言しているというより、企業としての主張を行い、主導権を争っている。企業同士の罅迫り合いの雰囲気の中にも参加者がそれぞれ旧知の仲で話がまとまっているところもあり、これから日本が入り込む困難さを感じる。

反面、日本はエキスパート登録しているためWGへの積極的な参加が求められる。今後も情報交換は必要で、これからの参加スタイルは検討が必要である。日本企業の一部にはGTCに参画しているところもあり、工業会としても方向性を定める時期に来ている。

また出席者の多くは工具製品データあるいはCADの専門家で構成されており、果たしてユーザーの要求を熟知しての議論なのか疑問であるが、「多少間違っても早く規格を制定したい」という参加メンバーの思いが強く感じられた。

### 4-3 まとめ

GTCの流れは今後も進むが、日本は工業会という他国にない強みがあり、オールジャパンだから出来ること、日本の団体のみならず、アジア圏との連携も視野にいれた体制づくりも可能と考える。

### ※次回会合スケジュール

2016年9月27~29日

ドイツ WG34

(TF、MA、WG34)

2017年5月15~19日

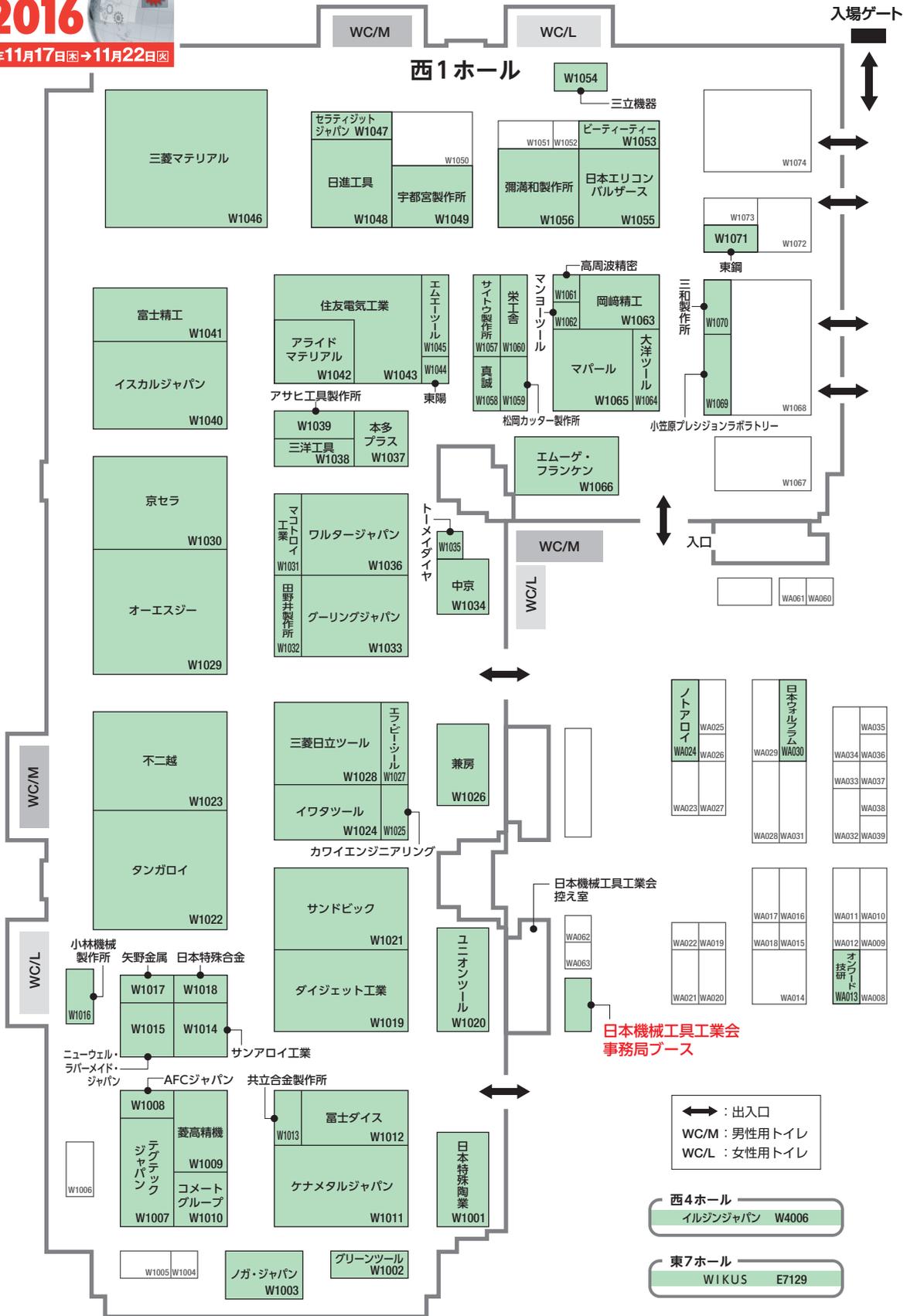
スウェーデン

(TC29、SC9、WG34)



# JIMTOF2016 日本機械工具工業会出展者(68社) 西1ホール配置図

2016年11月17日～22日に東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて開催される、JIMTOF2016(第28回日本国際工作機械見本市)日本機械工具工業会会員出展者68社の小間配置が下記の通り決定いたしましたので、ご報告いたします。



## 新入会員紹介

### ◆正会員

#### 株式会社 東陽 (平成27年11月入会)

会員代表者 代表取締役 吉江 慎太郎

本社所在地 〒399-0704

長野県塩尻市広丘郷原1000-5  
アルプス工業団地

電話番号 0263-52-2451

FAX番号 0263-54-1834

URL <http://www.toyo.vc>

主要製品 超硬ドリル、超硬エンドミル、P.C.Dインサート及びホルダー

### ◆賛助会員

#### 株式会社 ナガセインテグレックス (平成27年11月入会)

会員代表者 代表取締役社長 長瀬 幸泰

本社所在地 〒501-2697

岐阜県関市武芸川町跡部1333-1

電話番号 0575-46-2323

FAX番号 0575-46-2325

URL <http://www.nagase-i.jp>

主要製品 工作機械(超精密研削盤、微細加工機、レンズ、タービンブレード、歯車等の加工機、超精密測定システム)の開発製造

#### WIKUS-Sägenfabrik Wilhelm H. Kullmann GmbH & Co. KG (平成28年5月入会)

会員代表者 Global sales manager Fred Rijnveld

本社所在地 Melsunger Str. 30, 34286 Spangenberg, Germany

電話番号 +49 (5663) 5000

FAX番号 +49 (5663) 50057

URL <http://www.wikus.com>

主要製品 バンドソー各種

#### 株式会社 メタルドゥ (平成27年11月入会)

会員代表者 代表取締役社長 山頼 敏彦

本社所在地 〒550-0003

大阪府大阪市西区京町堀3-5-6

電話番号 06-6448-5151

FAX番号 06-6448-5757

URL <http://www.raremetal.co.jp>

主要製品 W、Mo、Co、Niなどレアメタル全般の回収、リサイクル

#### KBMジャパン株式会社 (平成28年5月入会)

会員代表者 代表取締役 齋 炳壹

本社所在地 〒141-0031

東京都品川区西五反田1-17-6  
トミエビル9階

電話番号 03-5856-9411

FAX番号 03-5856-9412

URL <http://www.kbmjapan.com>

主要製品 タングステン、コバルト、ニッケル粉末の輸入販売

#### イルジンジャパン株式会社 (平成28年5月入会)

会員代表者 代表取締役 劉 賢喆

本社所在地 〒105-0013

東京都港区浜松町2-2-15  
浜松町ゼネラルビル7階

電話番号 03-5405-2820

FAX番号 03-5405-3577

URL <http://www.ijj.jp/index.html>

主要製品 人工ダイヤモンドパウダー、PCB、超硬丸棒

#### 日本ウォルフラム株式会社 (平成28年5月入会)

会員代表者 代表取締役社長 小林 直記

本社所在地 〒241-0803

神奈川県横浜市旭区川井本町70-5

電話番号 045-954-0301

FAX番号 045-954-0350

URL <http://www.j-wolfram.co.jp>

主要製品 超硬製品輸入、製造販売



# ユニークな博物館 ～インターメディアテク～

技術委員会 委員長 櫻井 正俊

東京駅前の旧東京中央郵便局舎跡地に、商業施設『KITTE (キッテ)』を含む『JPタワー』が、2013年3月に完成した。この2、3Fに『インターメディアテク』というユニークな博物館がある。これは、日本郵便株式会社と東京大学総合研究博物館 (UMUT) の協働プロジェクトで、東京大学が1877年 (明治10) の開学以来蓄積してきた動物の骨格や剥製、鉱物、昆虫、産業プロダクトなど自然史・文化史の博物標本を常設展示している。

入場無料で出入り自由 それでいて、かなりの珍品を自由に見ることができる。

絵画にしても、標本にしても、展示の方法も年代に準じたり、種別に従ったりという、分明的なやり方をとらず系統立てて並べようという意図はない。観覧の順路は明示されておらず、どれが陳列物で、どれがそうでないのか、渾然一体として判別しづらいところが、とてもユニークで面白い。

大学では、教育研究のかたわら、多くのものが集められ、生み出されてきた。少し前までは、今ほど環境保全や文化財流出に関する取り決めが厳しくなかった。そのため、海外に出た研究者は、世界各地から研究資料を比較的自由に持ち帰ることができた。大学が組織した大規模な学術調査隊の持ち帰り資料は、植物標本、動物学や鉱物学や地質学、あるいは考古学や人類学、民俗学にかかわるものなど、膨大に蓄積されている。

また、維新後の明治新政府は近代国家建設の先兵となる人材を育成しようと、学制を整えるより先に欧米先進国から大量の標本や模型を買い付けた。

ここの展示品は様々な分野の資料がテーマ分けされることなく、あえて雑多に展示されている。所蔵品についての解説も最小限でシンプル、博物館というよりも19世紀の

博物学者の家にある個人コレクションを見せてもらっているような雰囲気のある場所だ。展示ケースの中に何があるのか全く予測不能で、地球儀の横にカメの骨格標本があり、その奥にキリル文字が書かれた鉱物標本がある、というような感じ。館内を歩きながら思いがけない展示品に出会って「何だコレ?!」と驚いたり、感心したりする、そんな経験ができる場所といえる。

常設展示の中核をなすのは、総合研究博物館の研究部ならびに資料部17部門の管理下にある自然史・文化史の学術標本群である。ミンククジラ、キリン、オキゴンドウ、アカシカ、アシカの現生動物、さらには幻の絶滅巨鳥エピソードオルニスなどの大型骨格については、本展示が最初のお披露目の場となる。また、(旧) 医学部旧蔵の動物骨格標本と教育用掛図も、本格的な公開は今回が初めてとなる。

もっとも体重が重いとされる絶滅鳥エピソードオルニス、もっとも身長が高いとされる絶滅鳥モアの巨大卵殻、世界最大のワニと目されるマチカネワニの交連骨格、さらにはペルーのクントゥル・ワシ遺跡で発見された南北アメリカ大陸最古の金製王冠、人類進化の歴史を塗り替えたラミダス原人化石歯の第一号標本、19世紀に制作された巨大ダイヤモンド・コレクション、世界最大金塊、世界最大白金塊、弥生時代の名称の起源となった第一号壺型土器など、専門研究の枠を超え、社会的に大きなインパクトを与えた歴史的標本は精巧なレプリカで見ることができる。

私が行ったのは2014年の10月の平日の午後であった。来場者はかなりまばらであったが、一度は是非経験して頂きたいユニークな博物館だ。秋篠宮眞子様が今年の4月から非常勤で週3日働かれているらしい。また、行ってみなくては。

(オーエスジー(株) 常務取締役)



## ◆会社紹介と工場PR

1950年5月東京大田区蒲田キネマ通りで「安部川 栄」がリーマ専門メーカーとして創業、近年は各種カッター、エンドミル、ドリルの4本柱が主流となっています。大田区に本社を置きながら5回に亘る工場の引越しを経て2007年6月に現在の新潟県魚沼市南部工業団地で操業しました。1981年1月には漏電での工場火災や2004年10月には新潟県中越地震に遭う等様々な出来事がありました。現在の地は地盤が固く地震に強い土地です。

鉄骨3階建て、敷地面積6,388㎡、延べ床面積3,790㎡。八海山の豊富な水量の地下水を利用し工場の屋根及び駐車場の雪対策をしています。



新潟工場

東京駅から新幹線の浦佐駅まで1時間30分、駅から車で5分、また関越自動車道の小出インターから10分という交通の便の良いところです。

最近是国内外からの工場見学者が多く、代理店、販売店、ユーザー、学校の生徒等に来て頂いています。工場内には野球チーム「EIKO TOOLS」があり、各種大会等に参戦しています。

魚沼市ものづくり振興協議会の会員でもあります。



縦型マシニングセンタ5軸加工機  
DMG MORI eco Mill 1100V



CNGC5軸多段円筒研削盤  
口ロマティックNP-5

## ◆ご当地の紹介

魚沼市は、新潟県の越後三山に抱かれ清らかな水と緑のまち。中越地方でも南東に位置し、2004年11月1日に北魚沼郡内のうち川口町以外の6町村が合併（新設合併）して誕生した市です。旧堀之内町地区は、かつて三国街道の宿場町（堀之内宿）として栄えました。

周囲は山に囲まれた盆地であり冬期は2mから3mの積雪がある日本有数の「特別豪雪地帯」で東西約37km、南

北約52kmと広大な面積を有する自然環境に恵まれた地域であり、総面積は新潟県の7.5%を占めていますが、市内の84%は森林です。

合併による新市発足を8日後に控えた10月23日に新潟県中越地震が発生、震源から程近い当地域でも死者5名、全壊75世帯を数え、魚沼市の歴史は震災復興から幕を開けることとなりました。

主な特産物は魚沼産コシヒカリ、日本酒（緑川、八海山、玉川酒蔵）、蕎麦、山菜、ユリ等。

魚野川の鮎が有名でさらに鮭が遡上します。



目黒邸（国重要文化財）

名所は、目黒邸（国重要文化財）寛政九年（1797年）、5年の歳月をかけて建てられた割元庄屋のお屋敷。豪農住宅で、桁行十六間・梁間六間

という豪壮さ。また野面石で塀を築き冠木門を設けるなど、中世武士の屋敷構えになっています。



宮柵二記念館

として様々な分野で活躍してきました。記念館では、彼のたゆまぬ夢と、歌にささげた生涯や、白秋の資料なども展示されています。

日本芸術院賞を受賞した歌人「宮柵二」の偉業をたたえ、遺品、遺墨300点を集めた記念館。宮柵二は魚沼市堀之内出身で、北原白秋の門下生と



上原コスモス園

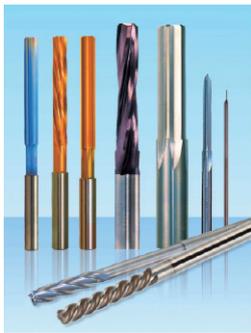
「コスモス道路」と呼ばれる高原の1本道沿いに広がるコスモス畑。木々がうっすらと秋色に染まるころ、3.8hある上原高原はピンクの絨毯にすっぽ

りと覆われ、コスモスの楽園となります。

その他、奥只見ダム（奥只見湖）、銀山平、西福寺（開山堂）、尾瀬（新潟県からの入口）等など。また、国際的俳優渡辺謙さんの出身地でもあります。

## ◆会社紹介と工場PR

エフ・ピー・ツール株式会社は、1932年の創業以来、独自の加工技術や高精度な測定機器を活かしたシステムをバックボーンとし、高精度リーマの「専門メーカー」として、



各種リーマ

製造、販売してきました。

特に実績のある小径サイズをはじめ当社の強みである高精度・高品質を売りとし、専門メーカーならではの、ユーザー様のニーズにお応えすべく細かいサイズ設定をしております。更に各用途に応じた幅広い製品ラインナップにより、主に自動車、航空機、その他、精密機械関連など、高精度の穴加工を必要とされる分野でご利用いただき好評を得ています。このように日本の高品質切削工具業界の一翼を担うと同時に、国内は勿論、世界の超精密（ミクロン単位の保証をおこなう場合を指す）加工ユーザーに使用されることにより世界の機械産業発展に少なからず貢献しているものと自負しております。

当社の経営、販売方針は、常に自由、且つ公平な競争を旨としており、相互に信頼のおけるお得意先様と長年に亘り親密且つ円滑な取引を進めてまいりました。更に、専門的で明白な各社様のご要求に素早く対応する為、会社間の広範囲なネットワークが構築されており、それを通じて事業を更に発展させてまいりました。競争力を高めるため、技術の改良を怠ることなく、また常にユーザーの皆様のニーズに的確にこたえるべく新商品を開発し続けております。

当社は、中小企業ではありますが、リーマ専門メーカーとして特異の精密技術を常に追求しており、社内的には、科学技術に偏重することなく、従業員の人間性、優しさを第一に家庭的な雰囲気の中で研究開発に勤しんでおります。



本社工場

## ◆ご当地の紹介

当社の所在地である山科区は京都市の南東部に位置し、東・北・西、三方にそれぞれ山々がそびえ、桜や紅葉など四季折々の豊かな自然にめぐまれた地域です。その山々から流れる幾つかの河川が区の南部で合流し、山科川となっ

て中央部を流れています。これらの自然の恩恵を受け、平野部では農作物が盛んに生産され、勸修寺ナスや山科ブドウなど特産品として知られています。

市街地は盆地状に区の南部に形成しており、特に山科駅の周辺は都市化が進んでいます。

アクセス面では、名神高速道路や阪神高速8号京都線、JR東海道本線、地下鉄東西線、京阪電鉄京津線などが乗り入れ、京都市の東の玄関口としての役割を担っています。京都市街地、祇園や京都の誰もが知る有名な寺社仏閣、歴史まつわる数々の史跡、琵琶湖といった多くの人気観光スポットも近く、観光面では、たいへん魅力的なところに位置しています。また、産業面では、清水焼・京扇子・京仏具などの伝統産業が脈々と息づいているだけでなく、金属箔・金属粉などの先端技術を駆使した製造業も盛んです。

## ◆山科の見所

### ○毘沙門堂



山科盆地を見渡す山腹に建つ天台宗五箇室門跡の一つで、意外と知られていない桜の名所です。特に樹齢数百数十年のしだれ桜は圧巻です。

### ○将軍塚（青蓮院門跡）

京都市を一望できる高台にあり、比叡山・鴨川・京都御所・



大文字山など京都の名所が眼下に広がり、夜には京都市内の美しい夜景をみることができ京都随一の絶景スポットです。平安京遷都の際、桓武天皇はこの場所から見渡し、都にふさわしいか否かを確かめたと云われています。

### ○醍醐寺

醍醐山全体を寺域とする200万坪を超える広大な境内をもつ寺院です。951年に建立した京都最古の木造建築物の五重の塔は国宝に指定されており、また古都京都の文化財として世界遺産にも登録されています。



# 機械工具 平成 27 年度生産額実績及び 28 年度生産額見通し (会員統計)

(単位：百万円、%)

品 目	平成 26 年度 実績	平成 27 年度							平成 28 年度						
		上期実績	下期実績	年度実績	前年度比	年度見通し	達成率	上期見通し	前年同期比	下期見通し	前年同期比	年度見通し	前年度比		
ソリッドツール (旧工具)	ハイス ドリル	18,763	9,617	10,145	19,762	105.3	19,417	101.8	9,700	100.9	10,300	101.5	20,000	101.2	
	超硬・ダイヤ ドリル	8,724	5,204	6,118	11,322	129.8	10,704	105.8	6,000	115.3	6,500	106.3	12,500	110.4	
	ドリル合計	27,487	14,821	16,263	31,084	113.1	30,121	103.2	15,700	105.9	16,800	103.3	32,500	104.6	
	ハイス エンドミル	8,170	4,299	4,137	8,436	103.3	8,599	98.1	4,150	96.5	4,250	102.7	8,400	99.6	
	超硬・ダイヤ エンドミル	15,174	9,058	10,252	19,310	127.3	18,058	106.9	10,000	110.4	11,000	107.3	21,000	108.7	
	ハイス カッタ	761	437	456	893	117.3	867	103.0	450	103.0	470	103.1	920	103.0	
	超硬・ダイヤ カッタ	259	169	210	378	146.0	329	115.1	190	112.7	220	105.0	410	108.4	
	ミーリングカッタ合計	24,364	13,963	15,055	29,018	119.1	27,853	104.2	14,790	105.9	15,940	105.9	30,730	105.9	
	ギヤカッタ	9,810	4,678	4,576	9,254	94.3	9,678	95.6	5,000	106.9	5,100	111.4	10,100	109.1	
	ブローチ	11,771	6,490	6,512	13,002	110.5	12,690	102.5	6,500	100.2	6,700	102.9	13,200	101.5	
	ハイス タップ・ダイス	32,094	16,986	17,703	34,689	108.1	35,186	98.6	17,400	102.4	18,100	102.2	35,500	102.3	
	超硬ねじ加工工具	2,711	1,533	1,647	3,180	117.3	3,083	103.2	1,600	104.4	1,730	105.0	3,330	104.7	
	タップ・ダイス合計	34,805	18,519	19,351	37,869	108.8	38,269	99.0	19,000	102.6	19,830	102.5	38,830	102.5	
	バイト	2,590	1,278	1,189	2,467	95.2	2,578	95.7	1,230	96.2	1,250	105.2	2,480	100.5	
	リーマ	792	457	1,202	1,659	209.4	907	182.9	1,200	262.6	1,260	104.8	2,460	148.3	
	その他工具	361	206	102	308	85.3	406	75.8	100	48.5	100	98.2	200	64.9	
	小計	111,980	60,411	64,249	124,660	111.3	122,501	101.8	63,520	105.1	66,980	104.3	130,500	104.7	
	超硬工具 (旧超硬)	切削工具	246,855	131,708	119,453	251,161	101.7	-	-	120,180	91.2	122,350	102.4	242,530	96.6
		耐摩工具	39,305	19,163	18,414	37,577	95.6	-	-	18,600	97.1	18,970	103.0	37,570	100.0
鉱山土木工具		9,760	5,418	4,486	9,904	101.5	-	-	4,380	80.8	4,420	98.5	8,800	88.9	
その他工具		5,692	2,835	8,701	11,536	202.7	-	-	8,700	306.9	8,700	100.0	17,400	150.8	
焼結体工具		24,320	12,776	11,526	24,302	99.9	-	-	11,550	90.4	11,650	101.1	23,200	95.5	
小計		325,932	171,900	162,580	334,480	102.6	-	-	163,410	95.1	166,090	102.2	329,500	98.5	
合 計	437,912	232,311	226,829	459,140	104.8	-	-	226,930	97.7	233,070	102.8	460,000	100.2		

(出典：日本機械工具工業会会員統計)

## 新職員紹介

### 事務局 甲賀 友里恵

この度、西山の後任で2月に入社しました、甲賀友里恵と申します。

日本機械工具工業会の業務に携わることで、日々貴重な経験をさせていただいております。

主な担当業務は、統計関係(新会員統計・機械統計の集計)、

部会資料の作成、一部委員会の開催案内、工業会の会計等です。

まだまだ分からないことばかりですが、会員の皆様に有益な情報をお届けできるよう、精進してまいります。

今後ともご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 編集後記

このたびの熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

日本工具工業会と超硬工具協会が統合し日本機械工具工業会が発足してから、6月で早1年となりました。年4回発行

されるこのJTA Journalも第5号。四季をイメージした誌面カラーが一巡し、JTAのイメージカラーでもある緑色に戻ってまいりました。初心に立ち返り、会員の皆様のお役にたてる機関誌を目指したいと思います。ご意見・ご要望等ございましたらお気軽に事務局までお寄せください。(M.O)